

平成 23 年 5 月発行

第21号

発行 有田川町議会

発行責任者 議長 新家 弘

住所 郵便番号 643-0021

和歌山県有田郡有田川町

大字下津野2018番地4

電話 0737-52-2111

FAX 0737-52-2198

<http://www.town.aridagawa.lg.jp/profile/gikaikoho.html>

有田川町議会広報 かわら版



第4回有田川町観光写真コンテスト TV和歌山賞作品『田植え体験』

提供：有田川町観光協会 撮影者：新谷 清子 氏

平成23年度当初予算など.....	2 ～ 4
町長にもの申す.....	6 ～ 13
編集後記.....	14

吉備中学校・金屋庁舎・消防庁舎建設で安心・安全のまちづくりを

当初予算

156億8,000万円

平成23年第1回定例会は、3月2日から23日までの日程で開催されました。

一般質問に先立ち、3月11日、東北、関東を襲った大震災で犠牲になられた方々に黙とうを捧げ、ご冥福をお祈りしました。

本定例会には、平成23年度当初予算・特別会計予算、平成22年度補正予算、条例の一部改正、請負変更契約など、提案された35件の議案を審議し、すべて原案の通り可決されました。

◎平成23年度 一般会計予算の主な歳出

(単位：万円)

項 目	金 額	内 容
議 会 費	1 億 3, 0 2 8	議員報酬など議会費全般
総 務 費	2 1 億 4 6 2	職員給料、負担金、徴税費、電算委託料など
民 生 費	3 6 億 4, 0 6 1	社会福祉費、障害者福祉費、老人福祉費など
衛 生 費	1 3 億 2, 6 3 5	予防接種委託料など
農 林 水 産 費	1 7 億 7 9 2	農業振興費、農地費、林業費、地籍調査費など
商 工 費	1 億 4, 0 8 6	商工観光費全般
土 木 費	9 億 9, 5 7 1	道路・橋梁費、河川費、都市計画費など
消 防 費	8 億 9, 7 3 3	消防費全般
教 育 費	1 6 億 7, 4 9 0	教育総務費、小・中学校費、社会教育費など
公 債 費	2 7 億 6, 7 0 9	元利償還金
諸 支 出 金	1 億 3, 2 7 0	基金積立金
予 備 費	2, 0 7 9	予備費
そ の 他	1 億 4, 0 8 4	労働費、災害復旧費など
歳 出 合 計	1 5 6 億 8, 0 0 0	

「平成23年度一般会計予算」質疑

質疑 今後、吉備中学校建設や消防庁舎建設、あ

さざり周辺施設の建設でどのくらい事業費を見込んでいるか。また財政負担の推移をどのようにみているか。

企画財政課長 吉備中学校建築で約45億3400万円。消防庁舎建築で約15億7800万円。活性化プロジェクト（あさざり周辺整備）で約5億2800万円。

町長 常に公債比率などを考えながら進めており、今の計画では財政面で十分耐えうる計画をしている。東日本大地震の影響で事業を縮小しなければならぬ場合になれば縮小しながら、また計画も延ばして対応していきたい。

など地域ネットワークづくりを計画の中へ入れるべきでないか。

町長 防災計画の見直しが必要だと思っている。福祉も大事なので計画の中へ入れていきたい。

質疑 地域経済を活性化させる意味で、大型事業が続く中で町内業者への発注をどのように高めるのか。

町長 地元でできることは地元業者に発注していく。

質疑 小学校6年までの子ども医療費の財源に過疎債を使っている。5カ月間の実績をみても試算以内になっている。過疎債を使い中学校3年生まで医療費の無料化を求める。

町長 一年間の状況をみて、また近隣の市町村の対応をみながら無料化を検討したい。

質疑 新金屋庁舎建設で分庁方式が継続する。一

方で職員が減り、住民サービスの一歩を落とさないでやっていくのか。

町長 機構改革（役場機能の改善）を進めながら住民サービスを下下さないよう対応したい。

質疑 年間46億円の事業をするが、その5年後15億円しか組めなくなる。そこから5年後、交付税が12億円も減る。その上、いま起こっている大地震の影響も出てくると思う。内容を再検討し充実した財政運営をしてもらいたい。身の丈にあった財政運営を要望しておく。

現金屋庁舎と新庁舎建設

町長 今のところ定かでないが、十分精査してやっていかなければならない。ただ合併時の約束はできるだけやっていきたい。

質疑 図書購入に1200万円計上しているが、町内業者へ発注されるのか。

町長 町内業者で対応できる分については対応していきたい。



吉備中学校建設予定地



消防庁舎建設予定地(徳田地内)



地域交流センター内の図書コーナー

◎平成22年度一般会計補正予算などに

2億3,761万円

電子決済システム導入6,300万円

町道改良……………7,800万円

◎平成23年度 主な特別会計予算

(単位：万円)

項 目	金 額	内 容
国民健康保険事業	36億9,941	総務費、保険給付費、後期高齢者支援金など
後期高齢者医療	6億5,466	総務費、後期高齢者医療広域連合納付金など
介護保険事業	23億9,686	総務費、保険給付費など
特別養護老人ホーム事業	59	基金積立金
簡易水道事業	7億7,146	総務費、水道施設費、公債費など
公共下水道事業	12億4,619	総務費、公共下水道事業費、公債費など
農業集落排水事業	3億 16	総務費、公債費など
簡易排水事業	198	簡易排水施設費など
浄化槽事業	834	衛生費、公債費など
かなや明恵峡温泉	1億2,147	総務費など
その他会計	361	5財産区会計など
歳 出 合 計	92億 473	

下水道課長 平成23年度一般会計からの繰入額は2億5499万円。起債の償還額は平成21年度がピークであった。平成22年度から起債残額が約1000万円ずつ下がってくる。起債の償還の完了は平成45年度を予定している。



農業集落排水終末処理場(徳田)

質疑 町内に農業集落排水の施設が5つあり、繰入金が2億5400万円。収入となる使用料が4366万4000円、公債費(借入金の返済額)だけでも1億5900万円である。一番古い施設で供用開始して何年か。加入率向上に向けてどのような進めていくのか。

用開始した田殿地区が一番古く、13年になるうとしていて。全施設の平均接続率は73・63%。各家庭を訪問して接続率向上に向けて取り組みたい。また何年か先、使用料の見直しも含めて今後の検討課題だと考えている。

平成23年度
「農業集落排水事業特別
会計予算」質疑

議長、副議長 就任あいさつ



副議長 殿井 堯



議長 新家 弘

去る、3月11日の三陸沖を震源とする大震災で被災されたみなさま方に心からお見舞い申し上げます。また、この震災に際し、心のこもった多くの義援金をいただきました。また町民のみなさま方に厚く御礼を申し上げます。

さて、この度私ども、3月定例会におきまして、有田川町議会議長並びに副議長に就任いたしました。誠に光栄に存じますと同時に、その任務の重大さを痛感し身の引き締まる思いでございます。

この上は、有田川町のより一層の発展をめざし、執行機関・議会が一丸となって町民のみなさま方のご期待にお応えできますよう努力していく所存であります。

どうか、今後ともみなさまのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

全国町村議会議長会 自治功労者表彰

【議員15年以上】

湊 正剛 氏
(70歳)

15年以上にわたり町議会議員として地方自治の振興発展に寄与された功績が認められ、全国町村議会議長会より表彰されました。

東日本大震災で

被災されたみなさまに



一日も早い復興を祈り議会から義援金を贈る

この度の大地震災でお亡くなりになられました方々、被災されたみなさま方に謹んでお悔やみとお見舞いを申し上げます。

有田川町議会として議員18名から義援金を募り、町を通じて被災地にお送りいたしました。被災地域のみなさまの一日も早い復興をお祈りいたします。

町長にもの申す 一般質問

7議員が登壇しました



中山 町長



東建設課長



保田清水行政局長



福原産業課長



坂上学校教育課長



前田消防長



楠木教育長



河島環境衛生課長

登壇順	質問議員氏名	質問事項
1	殿井 堯	1.平成23年度からの主要事業は
2	佐々木 裕哲	1.今後の事務組織及び機構改革は 2.一般廃棄物の処理は
3	森 本 明	1.財政健全化計画は
4	竹 本 和 泰	1.生石高原を活かした地域振興を
5	増 谷 憲	1.地域の経済活性化対策を 2.町道、県道の維持管理の充実を
6	堀江 眞智子	1.アナフィラキシーの対応は 2.アレックの利用のあり方は
7	湊 正剛	1.迅速な対応を 2.地域のイメージアップモニュメントの設置を 3.過疎地の廃校舎の利用方法は





平成23年度から予定されている 主要事業は

殿 井 堯

平成23年度からの 主要事業は

質問 平成23年度から予定されている主要事業のうち、あさぎり周辺整備、

吉備中学校改築、消防施設（庁舎）整備について担当課長より詳しい事業内容の説明を求める。

産業課長 あさぎりの建物老朽化や耐震性などの問題から新築することとなった。各地区の特徴をふまえた発展に力を入れるとともに、あさぎり周辺の整備に伴い、観光をメインにした地域の活性化につながると期待している。また、地域の方々と連携しながら清水地区の発展のため、この施設を有意義なものにつくり上げていきたい。

学校教育課長

吉備中学校は耐震性が低く、一刻も速く安心・安全な学校を整備する必要がある。今年度より現グラウンド



有田川町消防本部・吉備金屋消防署

の整備を始め、そこに新しく校舎棟・体育館・武道場を建築することになっている。平成24年度末には新校舎棟が完成する。完成後、現校舎の解体を行い跡地を第二グラウンドとして整備を行う。全体の完成時期は平成25年度を予定している。

消防長 消防庁舎は、建物の老朽化・耐震不足などの理由により庁舎の建設を余儀なくされている。平成23年1月より造成地への進入道路を整備し、平成24年から25年度

に、新庁舎の建築、消防指令台などの購入を予定している。災害に対する迅速な対応をはかるため、拠点となる庁舎の充実した機能が必要となる。

事故災害での負傷者や急病の発生に対して初期対応と処置が的確に行われるよう、高度救急救命処置の体制を確立したい。風水害の自然災害に対しては、行政・各機関・地域の方々と一体となり防災体制の確立に取り組みたい。

町長 あさぎり周辺の施設はシロアリの被害などで観光客に利用してもらえない施設ではなくなっている。あさぎり周辺施設を整備し清水の観光拠点にするためには、町民一体となって取り組んでいく必要がある。

吉備中学校は町内でもマンモス校で震度6強の地震が起きれば倒壊する危険がある。子どもたち

の安全を守るため早急に対応しなければならぬ。消防庁舎についても耐震に対応できず、防災の拠点がしっかりしていないと、町民の安全を守れない。

質問 今回の東日本大地震の緊急事態により、国からの予算が減り、財政が計画通りにいかなかったかもしれない。その場合はまず、中学校や消防署など災害に対して町民の安全を確保することを優先されたい。無駄のない予算で地元の人々に還元できる事業を行政としても常に考えるべきではないか。

町長 国の措置によっては、補助率が下がる可能性がある。予定されている事業の縮小や工期延長の検討も視野に入れ、国の動向を見ながら財政計画を立てていく。

何のための合併だったのか



佐々木 裕 哲

今後の事務組織 および機構改革は

質問 合併してからの庁舎は分散しているため、

町民は各庁舎への往来は不便だと言っている。庁舎が分散しているため、事務組織および機構改革が進まないのではないのか。今後、本庁舎をどのようにするのか。合併で新しい町になり合併特例債を利用するだけではなく、住民が安心して生活できる強い自治体をつくるための合併でなかったのか。



吉備庁舎

町長 新しい本庁舎は5年後検討することになっている。現在の吉備庁舎へ全て入れないので審議会で検討していただきたいと思う。機構改革は金屋庁舎が完成すれば大幅にやりたいと思っている。

観光対策を問う

質問 観光係として金屋

庁舎4人、清水庁舎4人それに局長、課長、課長補佐の体制で取り組んでいるが、観光は町の看板施策である。係は一つにすべきだ。観光客増加に向け取り組んできた具体例を説明されたい。

町長 平成25年開催の棚田サミットに向け、係を一本化する。

巡回バスを走らせるだけで観光客は増えない。今後の観光対策は費用対効果も十分考え、計画的に進めるべきではないか。



移転改築予定の「あさぎり」

一般廃棄物の 処理はどうか

質問 一般廃棄物と産業

廃棄物との区別はどのようになっているのか。また、処理責任は誰なのか。小型家電製品などの分別収集はしないのか。

環境衛生課長 産業廃棄物は事業活動により排出される20種類、それ以外は一般廃棄物となっている。使う側、使われている状況、製造業か小売業で区別される。一般廃棄物は市町村に処理責任がある。小型家電の収集は平成23年度からモデル的に行いたい。

清水行政局長 友好都市の高石市でも町内のPRに努めており、全国棚田サミットへ向けても取り組んでいる。

集客については、地域の方々の取り組みにも期待している。

産業課長 町内に多くの施設があるので観光係と

いっても日常の管理のウエイトが高い。こうした施設やイベントなどを充実させ、県外にも発信したい。

町長 今回の資源ゴミの入札で3年間で819万円で購入してくれることになった。これは町民の方々が分別に協力してくれた結果だ。お礼を申し上げたい。



財政健全化について問う

森 本 明

今後の町財政の見込みは

質問 平成23年度当初予算156億8千万円の積極予算を編成されている。

一方歳入では、純粋な町税は、17%の27億円。ほかは国、県からの交付税などの依存財源と、貯金の取り崩し、借金で賄われている。このまま進めば財政悪化は否めない。今後の財政運営はどうか。

町長 それぞれの地域の均衡ある発展を考え編成した。一昨年ごろから、

経済対策、雇用対策として国から補助金が交付され、少し財政的に余裕が生まれた。しかし、今後の大型事業（吉備中学校、消防署建設など）で、何十億もの予算が必要となる。最近起こった東北地方の大震災のこともあり、国の動向も十分把握しながら進めたい。

質問 今年から数年にわたって実施される吉備中学、消防署建設などの大型事業計画予算、約100億近い財政負担になると思うが、安定的な財政運営が可能なのか。財政担当課長の認識はどうか。

企画財政課長 今年度から3カ年の大型事業で財政調整基金の取り崩しは10億円となる。財政としては少しでも年度負担が軽くなるよう、起債の発行などを抑制しながら、より慎重な財政運営に努めたい。



吉備中学校校舎

質問 下水道債を加えると300億円を超える債務となっている。10年後までの起債（借金）の返済計画、実質公債費比率はどのくらいか。

企画財政課長 起債の返済額は、毎年30億円強を予定している。交付税などは大震災の影響で予想しづらいが、現在から勘案すると実質公債費比率は14%台を維持できるのではないか。

公共下水道事業は

質問 公共下水道加入率は36%と低迷している。このまま進めば赤字の補填で一般会計が破綻しかねない。今後、平成27年頃から予定されている第三工区地域住民の意識調査も必要となってくるのではないか。

町長 下水道事業開始以前に調査済だが、最近、合併槽設置への補助金を出している関係で、ずいぶん環境整備が進んでいる。議員提案の意識調査も視野に入れ検討したい。

質問 全町を挙げて公共下水道加入率促進対策本部を設置してはどうか。

町長 各地域の区長さんをはじめ下水道推進協議会役員さんのご協力をいただき、加入率促進に取り組んでいる。また、イベントを開催し環境面のアピール、ホタルの飼育などで下水処理の処理水のイメージアップを図っている。



きれいな処理水でホタルを飼育する
(公共下水処理施設内)

生石高原を活かした地域振興を



竹 本 和 泰

生石高原には多くの登山者が訪れながらも周辺地域への波及効果が少ない。生石高原周辺には生石神社、次の滝などの景勝地や鈴木家住宅、薬王寺などの文化遺産、自然を体験できる場所も数多く観光資源が豊富である。そこでこれらを活かし登山者や観光客が訪れやすい環境整備を行い、地域振興に結び付けられるよう提案する。

観光客呼び込みへ積極的なPRを

質問 広報は大きな効果をもたらす。看板の設置や交通アクセスの利用方法、ポスター、ホームページなどPRの仕方を工夫した積極的な広報を。
町長 観光案内所などで交通アクセスや催しなどの情報発信に努めている。今後さらなる観光振興のため効果的な取り組みをしたい。

生石高原への看板の設置は、できるだけ早く効果的な場所に設置したい。

生石高原三角点、生石神社間の遊歩道整備を

質問 生石高原の東側約五〇〇メートルに位置する生石神社までの間は、景観も良く、高山植物も多く自生しているなど自然の宝庫である。

生石高原の付加価値として、多くの登山者の訪れを期待する。しかし、遊歩道の半分近くは階段状に擬木が設置されているが、残るところは危険箇所や歩行困難なところ



生石神社(楠本地内)

も多い。遊歩道の整備をさしたい。

町長 遊歩道の整備については以前からNPO法人生石山大草原保存会のみならず、人が取り組んでくれている。町も草刈り、修繕などイメージアップ事業を活用して実施している。今後、生石神社氏子のみならずの要望も配慮しながら、観光客が自然を満喫できるよう取り組んでいく。

生石高原駐車場へトイレの設置および用水の確保を

質問 登山者、自然体験などの入込者で一番大きな障害は、トイレがないことだといわれる。観光客を呼び込み、地域の活力を得るためにも、トイレの設置と用水の確保を。
町長 近くの紀美野町側

の「山の家おいし」に立派な屋外トイレがあり、そのトイレを利用させていただきたい。用水の確保については、要望の出ている生石地区の水道事業に取り組み中で考えていきたい。

周辺地域の町道県道の整備促進を

質問 景勝地や文化遺産などへ観光客を呼び込むためには、道路整備は欠かせない。生石高原をメインとした周辺町道の中、生石高原線、県道生石公園線と楠本小川線の整備促進について、町長の見通しを伺う。

町長 町道中生石高原線の全面改修は難しいが、局部改修については地元要望に応じていきたい。また、県道の生石公園線と楠本小川線は、一日でも早く改修できるよう県当局に働きかけていく。



有田川町の景気対策を求める

増 谷 憲

地域経済を活性化 させるために

質問 住宅リフォーム助成制度は、住宅をリフォームする町民に、町が一定額の補助をする制度。例えば、総工費20万円以上の工事に一律10万円を支払う制度。

ある自治体では世帯数の10%が申請し、工事費用の平均が45万円、補助金の4.5倍近い仕事をつくり、貴重な「仕事おこし」となっている。不況対策としても経済効果を持つ。また地域の中に新たな雇用を生み出した事例もある。この制度の認識と実施されている自治体の波及効果をどのように認識され、わが町でも制度化する考えはないか。

町長 ある程度効果があると認識している。県内の状況をみながら検討課題にしたい。

質問 小規模（少額）随意契約は地方自治法にも明記されている制度。市町で予定価格の限度額は工事または製造で130万円、財産購入で80万円、物件借入で40万円、財産売却で30万円となっている。町内業者の活性化として実施すべきでないか。

町長 実施している市町村を参考に、制度を早急に検討したい。

質問 安定した雇用確保と定住対策、地域の守りとしての位置づけで、町内の福祉施設、例えば特養ホームや老健施設、介護事業所などに雇用されている、例えば20歳から50歳の間として、町内に住民票があり定住している方への助成を考えてはどうか。

町長 町内から町外へ勤めている方もあり、不公平が出るため奨励金に格差をつけるのは難しい。

町道、県道の維持管理の充実を求める

質問 町道へかぶさっている木の伐採、町道に落ちた枝・生えている草・土の撤去を求める。

町長 基本は地元区でやっていた方がいいが高齢化で対応できなくなった場合は、町が責任をもつてやっていきたい。

質問 清水地域から海南・和歌山・紀北方面への通勤などや物流の運搬にとつての近道が町道ダム湖日浦線から紀美野町の町道東福井牧場線である。しかし冬期に雪が20センチ前後も積もる。私もこの区間を見に来た。主に紀美野町側がウターンも大変であったり、県外ナンバーの小型トラックが道路へ止めたままにな



町道東福井牧場線(紀美野町)の積雪

っていたり、小型トラックが脱輪していたり、危険な状態で通勤などに支障を来している。この区間を広域的にとらえ、県、有田川町、紀美野町で協議し、冬の除雪対策を求める。

町長 紀美野町側の積雪の状況をはじめて見た。除雪作業には県にも中へ入ってもらい紀美野町とも早急に協議したい。

子どもたちの健やかな成長を願って



堀 江 眞 智 子

アナフィラキシーへの対応を

質問 アナフィラキシーとは、アレルギー反応で重篤で生命の危険を伴う反応をさし、原因として蜂毒、食物アレルギーなどがある。また、運動によってアナフィラキシー症状になる場合もあり、食後の運動にも気を配る必要がある。救急処置としてエピネフリンという注射薬がある。使用できるのは、治療や臨床試験の内容を理解した本人・保護者またはそれに代わる適切な者となっているか。



エピペンを使用しているところ

誰でもというわけにはいかない。

＊ エピペンは、誰の判断で、誰が使用するのか。

学校と消防署との連携や近隣の医療機関との連携、定期的に学校が相談できる体制や看護師の派遣体制はどうなっているのか。

給食時に対応をする体制、緊急事態を学校長や教頭にすぐ連絡できる体制や設備はできているのか。

教育長

学校生活指導管理表・保健調査書により主治医の指導による特別な配慮や取り組みがされている。児童生徒が重症になった場合は、現場に居合わせた教職員が、救急および学校長並びに保護者に連絡し、エピペンを使用することになる。

保護者と学校の連絡体制は確立できており、消防署や医療機関との連携もできている。

発達に課題を抱える子どもたちの対応は

質問 普通学級に在籍するさまざまな課題を抱える子どもたちについて、教育委員会としてどのように把握されているのか。

また、発達に課題を抱える子どもについての相談体制の現状はどうなっているのか。

教育長 発達に課題があると思われる児童生徒の把握は、気になる子どもたちの様子を把握する「実態調査」を毎年行っている。また、校長会や学校訪問でも交流し、把握に努めている。相談体制については、「有田川町心身障害児就学指導委員会」を設置し、指導のあり方を相談・検討している。

アレックの利用は柔軟に

質問 施設内へ子どもたちのお茶や水の持ち込み



地域交流センター「アレック」

と、調理室の貸し出しはどうなっているのか。

町長 飲料の持ち込みは原則禁止。ただし、家庭から持参した水筒などは、教育的・健康的理由から容認している。アレックの貸し出しは、イベントステージ・研修室1から4・昇降ステージのみで、これ以外の施設は原則貸し出しを行っていない。

※エピペンとは、ハチ刺傷、食物アレルギーなどによるアナフィラキシーに対する緊急補助治療に使用される医薬品。



町の繁栄は官民一体の手づくりで!!

剛 正 湊

迅速な対応を

質問 昨年の8月、町道で草木が1.5mもはみ出し道路を遮断していた。学童の安全地帯である歩道は歩行できず、自動車が対向する上でも事故につながる状態であった。刈り取り作業の所要時間としては2人で5分から10分程度であったが、町の担当課に何度も相談しても難色を示すばかりで対応しなかった。

小さなことであるが大きな事故を引き起こす要因でもあり、町民の安全を脅かすのではないかと。今議会冒頭において、町長は「安らぎのある町づくり」を提唱されている。町長の提言に対し、危険から学童を守る事態について著しく責務が欠如しているのではないかと。町長 今後そのようなことに対しても細部にわた

り気を配り、より充実した指導をしていきたい。



町道小島井口線(長田地内)

町のイメージアップにつながるトーテムポールの設置はどうか

質問 トーテムポールを観光地の要所に設置することによるイメージアップ、また平成25年に棚田サミット(あらぎ島)を成功させる上にも強烈なアピールになるのではないかと。製作は産地である当地の間伐材をフルに利用し、デザインや色彩については中学生・小学生に

協力を依頼すれば美術教育にも資するのではないかと。

既に設置している県では多大の集客力と魅力を発揮している。当町でも独自の創作により、木の温もりや地域の明るさが増し、官民一体の手づくりによりイメージアップにつながるかと考える。

町長 トーテムポールの話は、初めてであり、地元材の有効利用で住民参加の手づくりのイメージアップに繋がれば推進していきたい。

休廃校舎の再利用は

質問 生産農家にとって一段と厳しさを増す鳥獣被害を考慮した場合、廃校舎を野菜の加工場にして、官民一体で英知を結集すればよい結果が生まれるのではないかと。山の幸であ

る椎茸・キノコ類・各種野菜また加工品であれば味噌・醤油・漬物などの商品を優先的に学校給食に利用することにより、地元住民の雇用機会の創出もでき、研究を重ねれば必ずよい結果が生まれると思うが。

町長 廃校舎の利用は、地元住民と細部にわたり十分意見交換した上で多方面に働きかけをするなど、実現に向かっていきたい。



廃校舎(旧北小学校)



平成23年第2回定例議会は6月7日開会の予定で、一般質問は6月15日・16日に予定されています。議会では、みなさんの生活に直結する問題を協議しています。

ぜひ傍聴にお越し下さい。傍聴にお越しただけないみなさんには吉備庁舎、金屋庁舎、清水行政局各1階のロビーにおいて議会中継をしていますのでご覧下さい。

議会広報編集 特別委員会

◎湊 正 剛
○増 谷 憲
岡 省 吾
殿 井 堯
新 家 弘
竹 本 和 泰

◎は委員長、○は副委員長
ほかは委員となります。



第1回有田川町観光写真コンテスト TV 和歌山賞作品『明恵峡の春』

提供：有田川町観光協会 撮影者：岩本 勉氏

編集後記

東日本を襲った未曾有の大震災により、多くの犠牲者が出るなど甚大な被害をもたらしました。広域に被災された地域を国民全体でさまざまな支援をし、一日でも早い復興を願うものです。

しかし、被災者救援、インフラ再建など復興に相当な期間と膨大な経費を要することが想定され、各地方自治体にも当然影響があると思われます。

当町においても、今後さらに厳しい財政運営が求められるでしょう。

また、同時に有田川町の防災計画の再検討と、町民が防災意識を高め、安心・安全な災害に強い町であることを望むものです。

(竹本和泰)

お問い合わせ ☎52-2111
吉備庁舎4階 議会事務局まで